

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：★D-23-6-1 事業名：下水道整備事業（吉田地区）		
事業費：総額 61,244 千円 国費 48,995 千円 （内訳：工事費 61,244 千円）		
事業期間：平成 25 年度～平成 26 年度		
事業目的：東日本大震災による被災者の住環境を整備し、自立再建を図るため、災害公営住宅及び防災集団移転地への下水道整備を行ったが、併せて防災集団移転促進地への下水道整備と排水施設整備としてマンホールポンプを整備する。		
事業地区：吉田地区		
事業結果 <平成 25 年度、26 年度 明許繰越> ・汚水管渠布設工事 36,890 千円 線路延長（φ200）沈埋工法、開削工法 L=195.6m マンホール設置工 7 箇所 ・マンホールポンプ設置工事 24,354 千円 着脱式水中ポンプφ100 2 基 ポンプ制御盤 1 面 水位計 投込圧力式検出器 1 台 水位計 フロートスイッチ 1 個 引込開閉器盤 SUS 装柱型 1 面		
事業の実績に関する評価		
① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ○当該事業で整備した下水道により、災害公営住宅及び防災集団移転地の污水排水を行い、被災者の快適な住環境を保つ役割を十分果たし、その後に整備している浜吉田地区の污水排水にも役立っている。 ⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。		
② コストに関する調査・分析・評価 ○積算基準（下水道用設計標準歩掛表、土木工事標準積算基準書等）に則り事業を推進したため、事業費は妥当といえる。 ⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。		
③ 事業手法に関する調査・分析・評価		
	想定事業期間	実際の事業期間
調査・測量・設計	平成25年 4月～平成25年11月	平成25年 4月～平成25年11月
工事	平成25年12月～平成26年 6月	平成25年12月～平成26年 6月
⇒ 想定した事業期間内に完了しており、事業手法として妥当であったと判断する。		
事業担当部局 亘理町上下水道課施設班 電話番号：0223-34-0515		